

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 21 No 03

236号

平成25年 3月10日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

開業 20 周年を迎えて！

院長

2月20日で、かわむらこどもクリニックが、お陰様で20年を迎えることが出来ました。

思い起こせば、今から20年前(1993年)に、当院は開業しました。“この木、何の木...”日立総合病院で新生児集中室を立ち上げ、がむしゃらに働きました。開業医の父の死後4年で、日立市長の感謝状を胸に、落下傘のように突然仙台に戻り開業しました。地元の病院との繋がりも無いため、開業当初はやっていけるのか不安な日々でした。

新生児医療の経験、母親の喜びと悲しみの涙で育てられたことから生まれた開業理念「お母さんの不安・心配の解消」を掲げ、理念倒れにならないようにする毎日でした。理念を基にして診療に当たることは当然ですが、様々な子育て支援活動に取り組んできました。最初の取り組みは「クリニックNEWS」(1993年)で、蓄積した情報とインターネットの普及により、1996年「かわむらこどもクリニックHOME PAGE」を開業、珍しさ(日本ではじめての保護者向けのHP?)次々メディアで評価され潮の流れに乗ったような勢いでアクセス数が増え、「小児科老舗HP」と称されるようになりました。その後、理念の展開とインターネットの双方向性という観点から医療相談を開始しました。当時は医療相談自体も珍しかったのも手伝い、相談数もうなぎ登りで眠れない夜が続いたのも、今では懐かしい思い出です。1998年からは育児サークル『お母さんクラブ』開催し、クリスマス会など無邪気な時間を共有することもできました。2000年から患者さん専用アドレスを設定し、患者さんの感謝や熱い思いに触れることができる喜びも得ることができました。かかりつけの患者さんとの関わり合いから生まれた心地よさは、さらなる理念の展開として医学生教育、学校医活動まで手を広げるモチベーションの源となりました。

新たな活動から更なるモチベーションが生まれ、育児情報誌(愛知、奈良)の連載のみならず、ブログ「こどもクリニック四方山話」、YouTube、Mail



3月のお知らせ

- ・栄養育児相談
13、27日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料



news、FaceBook ページ等の新しいメディアを用いた情報発信にも取り組み続けています。

クリニックNEWSをはじめとした情報発信は、何度も途中で挫折しそうになりました。しかしながら、NEWS読者の“毎号楽しみにしています”、医療相談の“助かりました...”、かかりつけメールでの“ありがとう”、そして顔も知らないHP、ブログのサポーターなど、ほんとうに多くの人たちに支えられてきました。

多くの方々の応援以外に、対外的な評価も継続するための原動力になりました。最も大きな評価は、平成23年度「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」です。多くの方々のご存知のように、開業後継続してきた子育て支援活動が高い評価を得て、平成23年11月総理官邸に招かれ蓮舫内閣府特命担当大臣から手渡しで表彰状を頂きました。何度も紹介していますが、蓮法大臣とのツーショットは、野田総理を囲んだ集合写真より大事な宝物となりました。さらには、平成23年1月に新型インフルエンザの研究、仙台小児科医会長としてのワクチン普及への貢献との理由で「仙台市医師会学術奨励賞」を受賞いたしました。加えて平成24年4月からは、東北大学医学部小児科臨床教授の称号を頂いています。このような外部からの評価もまた、継続する力の原動力です。



仙台小児科医会としての仕事も忘れることはできません。平成22年4月から会長に就任し、市民に見える小児科医の活動を目指してきました。ワクチンの重要性を認識して、署名活動を行い仙台市に対して髄膜炎関連ワクチン助成要望書を奥山市長に手渡しました。さらには市民、行政を巻き込んだ市民公開講座を開催し、平成23年2月から政令指定都市では最も早い助成が実現できました。その原点は、会長就任時に市役所に出向いて担当者からレクチャーを受けたことから始まりました。担当者とのお互いを理解しての密な連携が功を奏し、平成25年度の水痘・おたふくワクチン公費助成を獲得することができました。

忘れることが出来ないのは、平成23年3月11日の東日本大震災です。患者さんの安心のためクリニックの早期再開、さらに情報の重要性からMail News等地震直後から発信しました。より早く放射性物質の情報を提供して、多くの患者さんから安心の声を頂いたことは忘れられません。

平成22年に発行した200号記念紙にも書きましたが、「継続は力なり」です。20年間続けられたのは、院長個人のみではなく、スタッフ、家族、そして多くの人たちに支えられたお陰です。今回も、多くのお母さんから投稿をいただきました。本当に、ありがとうございます。

これからも、もうひと踏ん張りしたいと思います。

患者さんからの言葉

2月20日で『かわむらこどもクリニック』が、無事20周年を迎えることができました。20周年記念紙の記事を募集したところ、多くの方々からあたたかいメール、手紙、作品を頂きました。皆さんの思いをなるべく伝えるため、掲載は50音順で原則として原文のままとしました。本当にありがとうございました。

「20周年おめでとうございます」。川村先生、スタッフのみな様、いつもお世話になっております。浅野花みち、花怜の母です。このたびはクリニック開業20周年誠にありがとうございます。子供たちがお祝いのメッセージを作成しました。後ほど病院におとどけいたします。先に高橋斗希君、友芽ちゃんのお宅と一緒に写真を添付いたします。(ミニかまぐらの前で撮影、水神様も祭りましたがうつっているでしょうか・・・) みんな、クリニックの大ファンです、これからもどうぞよろしく願いいたします(^)! 泉区南光台 浅野 なお

楽しそうな写真ありがとう!。こどもクリニックファミリーサポーター、揃い踏み(笑)。お祝いのメッセージは別のコーナーで。

「20周年によせて」。20周年おめでとうございます。阿〇〇〇・〇〇の母です。川村先生、看護師、事務スタッフの方々には親子ともども本当にお世話になっております。先日の帰りに、娘が「かわむらこどもクリニック」は何歳なの??と聞いてきました(笑)。20周年ということで、私もいつからお世話になっているのだろうと少し考えました。7年前娘が生まれてから、かかりつけの病院をどこにしようと4か所の病院を定期健診や予防接種も含めいろいろまわってみました。「かわむらこどもクリニック」は少し遠かったのですが、有名な先生で人気のある病院らしいよと主人が聞いてきて何ったのが初めてでした。最初は、先生が怖かった印象があります(笑)。失礼な話ですが、実際にいろいろ行って見て、1. 優しい先生だが、口数が少ない→聞いたことには答えてくれるが、そもそもわからないことが多いので何を聞いていいかわからない。2. 先生は優しいが、受付・看護師さんが怖くて話づらい。3. 先生と看護師スタッフの間の信頼関係が見えない。など、いまいち近隣の病院には決めかねる状態でした。(私との相性?の問題で悪口を言っている訳ではありません。それぞれに素晴らしいところはあると思います。)。 「かわむらこどもクリニック」は、先生の話も分かりやすく参考になり、看護師・スタッフの方が優しい、施設の雰囲気も良いと思いましたが、家から遠いため、当初は軽い風邪など大したことがない時は近隣で、何かひどいときは、「かわむらこどもクリニック」にしようと決めました。時々顔を出すうちに、先生も怖くなくなり(笑)、看護師さん、スタッフの皆さんはテキパキとした対応で気さくで「かわむらこどもクリニック」に惹かれていきました。〇〇が3か月の時に、RSウィルスにかかりひどく苦しんだ時がありました。即入院しようと言われ、何か所か電話していただきましたが、空きベッドがなく自宅療養になってしまいました。あのときは自宅で本当に心配しました。今思えば、かわむら先生だったらどこかのベッドをこじ開けて?入れてくれたんじゃないだろうかとも思います。そして、だんだん悪化してくるのに、悪くなってから診ていただくより、ずっと経過を診ていただかなければだめだと思いました。今では、わざわざ遠くにいかなくても・・・と母に言われながら(笑)、先生・看護師さん・スタッフさん揃って安心できる「かわむらこどもクリニック」に足しげく通わせていただいております。今年、私がぜんそくなり生活に支障を来し始め、大人の病院を転々としましたが、改善されず悩んでいたところに、先生が「お母さんも責任もって診てあげるから」と言われ、救われました。実際、大人の病院に小さい子供を連れて行く騒がないように気が気じゃないし、待ち時間は長いし、おむつを替えるところもないし、具合悪くて行ってるのにさらにぐったりして帰ってくる状態です。小児科は楽しいおもちゃやアンパンマン(テレビ)がいるので助かります。「お母さんの健康が子供の成長には重要」という先生の考えも、苦しい思いをした当時の私には、涙が出そうでした。言葉の発達遅れなどにも相談にのっていただき、親子共々本当に感謝です。震災後のいち早い診療再開・ガソリンがなく行けなかったときにメールで非常時対応していただいたことも助かりました。次々にいろいろなことを思い出します。先生はとてもバイタリティーがあり、お忙しくしてらっしゃいますが、母と同じ歳なので肉体的な疲労はかなりなものではないかと思えます。どうぞ、お体をお大事にこれからも皆さんの支えになってください。今後ともどうぞよろしく願います。長々と失礼しました。青葉区南吉成 絶対匿名

ほんとは、是非実名にして頂きたかった。病院の評価基準も面白い(笑)。先生だったら、かかりつけのために絶対こじ開けますから。思い出を共有する、それがかかりつけかも。

「いつでも、どこでも、すぐそばに(20周年おめでとうございます)」。生後七日目から息子がお世話になっております。出産まもなく心雑音があると指摘され、産院退院日に初診しました。待合室で楽しそうに遊ぶお子さん、明るささえ感じられる和やかなやりとり、説明しながら先生が書き留めてくださったメモのおみやげ。「ここが病院?!」という驚きの連続で、こわばっていた気持ちがほぐれました。それから、専門機関に通う日々の始まり。手術前後の重たい気分、仙山線に乗ったり、病室から電車を眺めたりするにつけ、先生やスタッフの皆さん、待合室で出会った方々の顔が頭に浮かび、少し元気になりました。病状が落ち着いてきた今も、近くに頼れるかかりつけ医があり、サイトやFBにいつでもアクセスできるのは本当に心強いです。また、予防接種や健診等で通うたび、子の遊び方が変化していく様子に、成長を実感させてもらっています。思わぬ病気が招いてくれた、素晴らしい出逢いに感謝です。今後とも、どうぞよろしく願います。泉区南光台 池田 順子



はじめてのお子さんで、心臓の病気。心配は、言葉で言い表せなかったでしょう。不安・心配が強いほど優しく、深く対応しないと。“思わぬ病気が招いてくれた、素晴らしい出逢いに感謝”、こちらこそ感謝です。



川村先生、スタッフの皆様、開業20周年おめでとうございます。かかりつけ患者の最年長として、今回初めてメールさせていただきました。小さい頃から通っていた地元の小児科が先生の御高齢により閉めることとなり、起立性調節障害で薬を処方してもらっていた私は「川村先生は、すごく熱心でいい先生だ。安心して任せられる。」と、こちらのクリニックを紹介していただきました。周りの子が一般の内科にかかる中、私は「かわむらこどもクリニック」で21歳を迎えました。なかなか起立性の薬をやめることができず、この歳で小児科に通うことを悩んだときもありました。しかし先生に相談すると、その都度「やめられないと思って不安になるなら薬を飲んでいい。いつかやめられるから、何歳になっても来ていいんだぞ」と、看護師さんと笑いながら言うくださり、こんなに理解のあるスタッフの方々がいる小児科に通えることを今では誇りに思っています。医療に関わる仕事がしたいと中学の頃から考えていましたが、大きな病院でなく地域に根付いたクリニックに勤めたいと思うようになったのは、川村先生やスタッフの方々のお仕事を見ていて憧れを抱くようになったからです。常にお子さんの目線で診察し、なおかつお母さんの不安も全て取り除く皆様の対応にいつか私もこんなクリニックで働けたら...と思うようになりました。そして今年、無事に希望していたクリニックからの内定をいただき、医療事務員として働くことになりました。こんなに大きくなるまでサポートしてくださり、進路も導いてくださったかわむらこどもクリニックの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。先日お話ししたとおり、もう少しだけこちらでお世話になりたいと考えておりますので、子供たちに負けない元気で先生もお仕事頑張ってください。泉区南光台 伊藤 歩

これから夢にみていた医療事務スタッフとして、社会の厳しさに揉まれることもあると思うけど、経験を活かして看板娘に。歩ちゃんなら絶対大丈夫！。

「20周年おめでとう ございます」。こんにちわ。岩木 美依の母です。先日は口の中をケガして川村先生に診てもらい「大丈夫」と言ってもらえて安心して帰ってきました。そして20周年と聞いて日頃の感謝とお祝いを伝えたくてメールしました。私は美依が産まれて引っ越したばかりの新しい場所で子育ても初めてで何もわからない時にかかりつけの小児科も見つけられずに色んなところをフラフラしていました。そこで里帰りしていた時に行っていた小児科の先生に家の近くなら「かわむらこどもクリニック」がいいよと進められてやっと信頼出来る先生と出会う事ができました。川村先生との診察の時間は時に厳しくご指導して下さいるので母として未熟な私にはとても勉強になる貴重な時間でもあります。そして先生の言葉は不安も取り除いてくれます。前に「子供に風邪を引かせたんじゃないかと子供が風邪を引いてしまったんだ。」と言ってもらえてまさにあたしの不注意で風邪を引かせて苦しい思いをさせたと落ち込んでいたので、その言葉に本当に救われました。そしてスタッフのみなさんもみんなとても優しく親身になって接してくれるのでいつもホッとします。熱が下がらなくて土曜日診察をして日曜日をまたいでしまった時には月曜日に様子を電話で聞かれた事もあって嬉しかったのを思い出します。そんな身近に感じられる小児科に出会えた事を幸せに思います。20周年本当におめでとうございます!! これからもお世話になると思います。今後ともよろしくお願いします。それといつもブログ覗かせてもらってます♪色んな病気の事も書いてあつたためになりますが私的には先生の美術館だつたりの写真シリーズが好きです♪写真もだけどYouTubeに載せた映像編集などなどいつもスゴいあつて思つて見てました。これからもブログ楽しみにしてます!! 宮城野区安養寺 岩木 恵子



すすめてくれた先生は誰?。そうですよ、“風邪はひかせるものじゃなく、勝手にひくもんです”。親というのはコントロールできない部分まで責任を感じるもの。気楽に!、ですよね。ブログ、YouTubeもよろしく。

今月で20周年おめでとうございます。我が家は男の子3人。いつも先生はじめスタッフの皆様には大変お世話になっていて感謝、感謝です。最近特に何かとお邪魔することが多く、次男は病院の隣がお家だったらいいね、と言っております。これからもいろいろお世話になるかと思つています。また、20周年とうかがい、余計な事ですが皆様の年齢がふと気になる母でした。いずれにしても20周年のお祝いと日頃のお礼を兼ねてメールさせていただきました。青葉区高松 岩淵 裕子

年齢のことを気にし出したら、きりがありません。こどもクリニックはやっと成人になったのです。まだまだ、みんな若いですよ〜。

「20周年記念誌に寄せて」。川村先生、スタッフの皆様、いつもお世話になっております! 大竹サツキ・メイ・チヒロの母です。この度は20周年記念おめでとうございます! 継続は力なり! 素晴らしいです。昨日、サツキ(小4)の授業参観があり、内容が『1/2成人式』でした。生後2ヶ月頃からお世話になってきたサツキが10歳、あと3ヶ月もすれば11歳です。ということは、かわむらこどもクリニックの歴史の半分は我が家がかつているということです!?! なんだか光栄です☆太白区に引っ越してから、お世話になる頻度はグンと少なくなつてしまいましたが、いつでもどんなときでもウチの三姉妹のかかりつけ医として温かく、厳しく、これからもよろしくお祈りします! 先生もスタッフの皆様も、健康に気をつけてますますご活躍ください。太白区緑ヶ丘 大竹 茜



太白区に引っ越しても、通つてくれます。遠くに行つても絶対忘れられない家族です。その理由の一つは名前、皆さんわかりますか?。サツキちゃん 1/2成人、おめでとう!



開業20周年おめでとうございます。桃が3ヶ月の頃に初めて先生と出会つてから、弟の隼弥が産まれ今では、毎月御世話になってしまつています。病院通いが多く最初の子の時は、特に親として自信をなくしそうになつたとき、先生や看護婦さん達の言葉に救われた事を今でも忘れていません。そう

やって11年が過ぎましたが、その中でいつも沢山の安心をくださることに感謝しています。そして、信頼できる先生や看護婦さん達に出会えた事が、子育てをしていく自分にとって、本当に宝物となっています。未熟な私を少しずつ親にしてくださったと思っています。(まだ未熟ですが)こんな時にしか言えなくてすいません。先生の前では、恥ずかしくて言えませんが・・・いつも感謝の気持ちで一杯なんです。 青葉区荒巻 大野 由美

親子も他人も同じで、言って伝えるコミュニケーションが大切。“黙ってても(言わなくても)、わかる…”なんて言いますが、言わなきゃわからないのです。勇気を持って伝えてくれてありがとう。

こんにちは。小野寺桜良 & 柊弥 & 柊紗の母です。昨日は柊紗の2ヵ月健診でお世話になりました。股関節に異常がなくホッとしました!!改めて20周年おめでとうございます (^o^)/先生にお世話になってからまだ4年程ですが、本当に先生と出会えて良かったと思っています (^o^)/こうやって直接メールでのやり取りを出来ることも、スゴく心強いです。年末に柊紗も生まれ今年から保育園に通うので、また先生にお会いする機会が多くなると思います (^_^);先生は毎日大変忙しいとは思いますが体には十分お気をつけて、これからも頑張ってください!! 泉区向陽台 小野寺 茜



会ってよかったと言う言葉、うれしいです。いろいろな意味で、人生どれだけいい出会いに巡り合うかが勝ちかもしれません。遠慮無くメールやTwitterも利用してください。

木島奏太、奏良の母です。いつもお世話になっております。開業20年、おめでとうございます。奏太が赤ちゃんの頃からお世話になっているので、もう6年になりますね。二人ともかわむら先生が大好きで、他のところには行きたがりません(笑)奏太は、やむを得ず休日診療等に行くと「かわむら先生がよかったなあ」と、よくつぶやいていたものです。奏良も、かわむら先生以外だと、かなり泣きます!私も、何か気持ちがスッキリしないので、翌日は、子どもらは大丈夫そうだなと思っても、必ずかわむら先生のところに行ってしまう。先生は、母親の心もバッチリつかんでますね(笑)余談ですが...病院の場所が実家付近ということで、実は学生の頃から気になっていました!そして、実は、独身の頃にもお世話になってました!10年くらい?前のことになりましたが...先生、保育士向けの研修で講師としてお話ししたことはありませんか?確か県民会館だったと思うのですが、その時、先生の著者「小児科医がやさしく教える赤ちゃん・子どもの病気」を購入した覚えがあるんですね。あやふやな記憶であり自信はありませんが...先生の著者、その頃からずーっと重宝しております*(^o^)/*そして、先生との出会いが、子どもが生まれる前からだとすると、何か運命的なものを感じます!そんな訳で、どうぞ、これからもよろしくお願ひします。青葉区下愛子 木島 智子

独身時代からのお付き合いと書かれて、思わずドキッと。でも、確か保健師、保育士の講演会?。独身時代からのお付き合いの人めったにいませんよ。

開業20周年おめでとうございます。通い始めて早13年...かな!?ホントお世話になりっぱなしで...ひでやすの入院やみつひでの喘息...育児をする上で欠かせない存在のかわむらこどもクリニック。先生はじめスタッフの皆様、今後もお世話になります。どうぞよろしくお願ひします。ちょっと堅苦しい文章から離れ...大和町に越してきて近所の小児科も行きましたが、やはり安心を求めて通ってしまってる次第です。かわむらこどもクリニックに一步入っただけで半分病氣も治った気分!?ホント癒されます。最近では月1のペースでしか伺いませんが...小さい頃は住みたい!!と思うほど毎日通ってたように思います。最近ではひでやすの少年野球繋がりで、かわむらこどもクリニックの知り合いが...高松に住んでた曳地家、バイタルネットの三浦さん(只今野球のコーチ)世の中狭いと思いました。長々失礼しました。今後もお身体に気をつけて益々ご活躍下さい。

黒川郡大和町 櫻井 美也子

いやあ大和町から通ってくる。クリニックまで、いったい何軒の小児科を通り越してくるのやら。少年野球のクリニック繋がりを大切にしてくださいね。遠い分、気を付けて!

20周年、おめでとうございます。錦ヶ丘の有斗、滯音の母です m(._.)m先生に出会えた事は、うちの2人の子供達にとって本当に貴重で掛け替えのないことです。ただただ感謝、ひたすら感謝です(笑)何かあれば、かわむらこどもクリニックがあると思えるこの安心感。先生やスタッフの皆様がずっと健康で私のこの安心感がいつまでも続きますように(笑)。お陰様で2人とも安定し通院することも減りましたがこれからもよろしくお願ひします m(._.)mあの有斗が春から中学生です(^-^)/子供の成長ってあっという間ですね(>_<) 青葉区錦ヶ丘 佐藤 麻矢

何かしらの偶然がなければ出会えない、つまりは必然(ん~難しい)。会おうということは、見えない力で動かされているのかも。出会いを神様に、感謝したいところですね。

「かわむらこどもクリニック」を一番初めに知ったのはインターネットでした。初めて子供を授かり、分からないことだらけの時に、「かわむらこどもクリニック」のホームページには、子供の病氣などについて詳しい解説があり、たいへん助けられました。その後、近所の小児科が閉院してしまい、どこの小児科をかかりつけにしたらよいか迷っていたところ、休日に発熱!家から少し離れているけれど(車で約15分)、ちょうど休日当番医であった「かわむらこどもクリニック」に行くことにしました。すごく込んでいたけれど、クリニックの中はかわいいピンク調の壁紙で、ぬいぐるみやおもちゃがあって、安心感がありました。看護師の方も優しく、テキパキされていて、病状を聞いてくださいました。川村先生は、ざっくばらんだけれど、子供のことを本当に考えてくださる方だな、と思いました。子供も、病院に行くなら川村先生のところがいい、と言うので、それからずっと病氣や予防接種のたびにお世話になっております。どんなに忙しくても、必ず最初と最後に挨拶、そして、親に対しても、必ず病氣や診断について分かりやすく説明して下さいます。診察の後にいただける、クリニックニュースも、タイムリーな話題や、流行の様子を



知ることができ、たいへんありがたいです。これまでで一番印象に残っているのは、診察のときに、子供がよく病状を説明できず、つい横から口を入れたら、「お母さん、それは、子供の成長を妨げることになりますよ。」と先生からご指導があり、本当にそうだな、と反省しました。それからは、他の場でも、できることはなるべく子供に任せて、さえぎらないように努めています。最近、先生のお年を知り、びっくりしました。先生、お若いです!!でも、診察のとき、先生の目がすっかり充血していたことがあり、お忙しく、お疲れであっても、こうして子供達を見てくださり、たいへんなお仕事だな、と感じたことがありました。どうか、くれぐれも御体を大事にされ、今後ともどうか診察をよろしくお願ひ申し上げます。このような文章で記事になるかは分かりませんが、少しでもこれまでの感謝をお伝えできればと思い、メールいたしました。 泉区南光台 匿名希望

悪いことじゃないから実名でも(笑)。またまた、偶然の出会いですね。人生の価値は様々ですが、どれだけ多くの人に影響を与えるか。診察中の注意が、その後に結びつく、まさにそれが影響です。

かわむら先生へ。20周年おめでとうございます!クリニックに通うようになって、もう6年です。先生とスタッフの皆さんのおかげで、何とか母業をやれています。詩音が小児科卒業するまでは元気でいてくださいね。これからもよろしくお願ひします! 青葉区東照宮 高倉 千恵子

何とか母業などと言わないで下さい(笑)。いろんな意味でお母さんたちを見てもみますが、大丈夫ですよ。

おはようございます!武田一生・将志・彩香の母です。このたびは、開院20周年おめでとうございます。私が初めて、川村先生とお会いしたのは、長男が2歳の時でした。その長男も今年、めでたく20歳になりますので、かれこれ18年もお世話になっていることになります。うちの子ども達は気管支が弱くて、風邪をひくと咳がとまらなくなりました。熱はあまり出ませんが、咳がひどくて咳き込み過ぎて、戻してしまい、そこから食べられなくなってよく点滴もしていただきました。3人目を妊娠中の冬、まんまと風邪をひいてしまい食欲のない日が続きました。毎日点滴しているのに、回復しない子ども達に私も精神的に参ってしまったことがありました。そんな時、妊娠中の私の体も気遣っていただきスタッフさんが休む部屋に、二人の息子と私と横にならせていただいて点滴したことは今となってはいい思い出です。子ども達のことを理解し、私のことも支え、励ましてくださった川村先生、中米さんをはじめとするスタッフの皆様には本当に感謝してもしきれません。子ども達が成長していく中で、体も段々丈夫になり受診するのは、予防接種の時くらいになりましたが幼い子ども達を抱えて、誰かが具合が悪くなってしまい本当に心細くなってしまった時、かわむらこどもクリニックの存在はどれだけ私を支えてくれたかわかりません。いつも親身になって話を聞いてくださった先生とスタッフの皆様へ心から感謝申し上げます。そして、これからの益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。 青葉区小田原 武田 朋枝



一口に18年って、長いようで短いですよ。こどもはだんだん風邪をひかなくなり。こどもは18年で素晴らしい進歩を。果たして自分を含めて大人の進歩は(笑)。いい思い出を共有できることが、信頼の証でしょう。

開業20周年、おめでとうございますm(__)m 福島県の樽川です。困った時の、つらい時の、川村先生ということで、仙台を離れてからも、度々お話を聞いていただいて、ありがとうございます。一年半ぶりに、クリニックに行った時も、スタッフの皆さんに覚えていてもらえて、うれしかったです(^o^) これからも、お忙しいと思いますが、お身体に気を付けて、頑張ってください。今後も、よろしくお願ひいたしますm(__)m 郡山市 樽川 昌子



震災の原発事故の後、真っ先に思い出されました。何度かメールをもらい、こどもたちの元気な様子、お母さんの不安を知ることができました。何かあれば、誰かが書いてくれた“いつでも、どこでも、すぐそこに”のクリニックを頼って!

いつも大変御世話になっております。開業20周年おめでとうございます!!我が家も御世話になってから、まもなく8年になります。幸運にもクリニックが近いので、些細な事でも先生に診ていただいてきました。元気な子供たちを抱え、私が体調悪い時には私の治療をしていただきました。お母さんクラブでは、スタッフの皆さんや先輩お母さん方ともいろいろなお話ができ、子供と共に自分も成長してきたのではないかと思いますクリニックに行けない時に何かが起こるとすぐメール...休日、時には深夜にもメールをしてしまった時もあります。こんな時間に...と思うのですが、不安が解消されないと先生にメールをするようになってしまいました。お陰様で子供たちは大きな病気をする事もなく、元気過ぎる程です!最近では元気過ぎてケガも絶えませんが...時々、先生の注射の跡を見かけるととても心配になります。クリニック以外でも大変お忙しいようなので、いつ休んでいるのだろう...?と、子供たちと先生の生活サイクルを想像してしまう事もあります。川村先生は我が家にとってはなくてはならない存在です。これからもお身体を大切に、子供たちの為に頑張ってください!! 青葉区高松 千葉 恵美



困った時に、いつでもというのは心強いかもしれませんが、一年中診察は不可能だけど、メールでの対応は任せてください。そう言えば、お正月にも相談を受けたっけ。体調の気遣いありがとうございます。特別な病気ではないのでご心配なく。

開業 20 周年おめでとうございます。私が体調を崩してメールが遅くなってしまいましたすみません。かわむら先生、スタッフの皆さまにはいつも助けていただいて、元気なときも頭の片隅にはかわむらクリニックがあるから大丈夫という思いがあり、安心して子育てができてきたように思います。私の実家は秋田の山奥で病院も医師も少なく、それに対しての患者さんの数が多いせい、医師も看護師もとりにあはずのルーチンワークをこなして、応対も悪い病院が多いです。実父が悪性リンパ腫になったときも、病名がわからないだけでなく、他の診療科にまわすわけでもなければ紹介状すらだしてくれませんでした。父はそのまま千葉に出稼ぎに行ったのですが、そこではじめて悪性リンパ腫とわかって治療してもらいましたが、胆管がつまって黄疸がひどかったので、あと少し遅かったらあぶなかったそうです。そんな経験から思うのは、信頼できる先生やスタッフの皆さんに出会えたことは本当に幸せなことだということです。病気をなおすには必ず限界があると思うんですが、納得して治療できるかどうかが一番だと思います。かわむらクリニックは一番に病気で苦しんでいる当人のことを想ってくれているのが、よくわかります。時に厳しく指導していただいたり、かかりつけ医だと言って責任を背負ってくれていること、メールでの質問に答えてくださること、心配な患者さんは具合はどうかお電話をかけて気にかけてくださること。適切に紹介状をだしてくださること。すべて心があるからこそできる行為だと思います。引越したくない理由のひとつにかわむらクリニックの近くにいたいというのがあるくらい、私には心の支えです。なのでクリニックはずっと続けてほしいです。かわむら先生、スタッフの皆さん、毎日本当にお忙しいとは思いますが、くれぐれもお体を大切になさってください。これからもお世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします m()m 青葉区高松 千葉 繭子

クリニックがそばにあり安心して子育てができるということは、まさにクリニックの理念です。病気には限界があり、納得して治療できる。これもすごく大事で、信頼関係の基本です。ですから我々も信頼感の裏返しとして、電話もしてしまうのです。

クリニック 20 周年おめでとうございます。川村先生こんにちは、中森飛羽・大地の母です。もう 20 年 ... 早いものですね ... あの頃 ... 新婚だった私達夫婦は近所のお散歩へ、すると可愛らしい建物が建築中でした「可愛い!何出来るのかな?」「本当だ ... 喫茶店?お洒落な店?」と、【何の店】か楽しみにしておりました。しかし、出来上がった看板にビックリ「かわむらこどもクリニック!」そして開院 ... 直後に私は長男妊娠、平成 6 年 3 月の乳児健診で初めて川村先生とお会いしました。その頃丁度【たまごクラブ・ひよこクラブ】が発行され、そのママ記者一期生だった私は「オススメ病院」として記事の投稿も考えましたが、断念しました。後のママ記者さんが投稿なされ ... 懸念どおり混雑し ... 先生が入院!... という想定以上の心配事になってしまいました ... お願いです ... 過労での入院は、もうナシにして下さいませ。先週も小学生の次男がお世話になり、昨夜も今年 20 歳になる長男が「... これ(耳の違和感と手首の赤い円状発疹)... 病院行くわ ... 川村先生にみてもらいたいな」と言っております。なので、まだまだ先生もスタッフの皆様にもお世話になるつもりでおります ... 病気になっても「川村先生がいるから、かわむらこどもクリニックに行けば大丈夫!」と心配無く生活して行ける ... いつも、そんな安心という目には見えない【心の治療】もして頂き本当に有り難う御座います。そして日々生活が変化し、同じ職場に居続けられるのは女性にとって難しい社会です。それでも、長い間居て下さるスタッフの皆様素晴らしさにいつも感謝しております。重ねて御礼申し上げます。更に、先生の健康管理に日々心を砕いていらっしゃる奥様にも感謝致しております事、どうかお伝え下さいませ。では、投稿遅くなりましたが ... この辺りで失礼致します。長い文章にお付き合い頂き有り難うございました。 青葉区西花苑 中森 裕子

コメントを書いている最中に呼ばれたら中森さんが受診。これが巡り合わせと話しをし、19 年前の思い出話に診療を忘れて浸りました。“思い出や歴史を共有することができるのがかかりつけ”を目の前で実感!。

こんにちは橋浦翔夢、有里愛の母親です。20 周年おめでとうございます。先生をはじめスタッフの皆様にお世話になり早十年目。忘れていた自分の年齢もふと考えてしまいました恐ろしい。先生方は私にとっても子供達にとっても心強い存在です。振り返れば翔夢が鼻づまりの風邪にかかり、第一子と言うこともあり新米ママの私はあたふた。初めてかかった他の病院の先生はあまり質問に答えてくれず、症状もなかなか回復せず不安で頭が一杯。ママ友から川村先生を紹介されたのがお付き合いの始まりです。今では体調が悪いなら川村先生の元へ GO!。が我が家では合言葉の様です。何より子供達が先生を信頼し、安心した気持ちで通い、見て頂ける事が私には嬉しく、仙台市の外れ(目の前は名取市)に引越した今でもお世話になっている次第です。先生方も毎日多忙で大変かと思いますが、お身体いたわりつつ、お仕事頑張って下さい。家は遠くとも、子供達が成長し小児科から内科に移るべき年齢に達するまでは先生にお世話になりたいと思っています。(子供達の希望でもあります)今後とも、まだまだよろしくお祈りします。 太白区袋原 橋浦 由美

遠くからわざわざ時間をかけて通院する、並大抵のことでは有りません。基本的には小児科はコンビニという意識の中、ありがたいことです。当院の理念をわかって頂ける方が、遠くから通えるのでしょう。

かわむら先生、こんばんは。畠山と申します。いつも息子の春と娘の花がたいへんお世話になっております。かつては先生のご説明のなさり方について不快に感じ、突っかかりたりした事もありましたが、そんなことも経て、今ではすっかり信頼し子供達を診てもらっています。すみません、余計な事を申しましたが、成人式ですから、お許し下さい(笑)これからもたゆまぬ努力と独特の語り口で(笑)、地域の子供達の健やかな成長を支えて頂ければ幸いです。おめでとうございます!今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。 青葉区中江 畠山 和利



院長に対しては厳しいとの評価が多いみたい。厳しさが子どものためと理解してもらえたらうれしいのですが。時には親への厳しさと勘違いされることがありますが、子どもの味方だから親には厳しいのです。

川村先生 - こんにちは (^)/ 今日雪凄いですね!!! 東北の冬、やはり厳しいですね -! 遅くなりましたが ... かわむらこどもクリニック 20 周年おめでとうございます☆多先生と出会って、8 年余りですが ... その間、京都へ 5 年。そしてまたまた U ターンして、再びお世話になる事が出来て、私は本当に幸せ者だと思っています!!! 以前は、頻繁に通っていたハズなのに、成長と共に

お会いする機会が減り...親としては有難いような、そうでないような?!(笑) 京都から戻って来た時は、5年ものブランクがあったにも関わらず、スタッフの皆様、変わらずそして覚えて下さって本当に嬉しかったです(*^^*) いつもお忙しい先生、素敵に歳を重ねられて、益々若く、そして格好よくなられています(^)/ これからも引き続き、親子共々どうぞ宜しくお願いします! 「離れても、かかりつけの先生」と言う言葉、転勤族の私としてはとても心強いです! 「お母さんの不安や心配の解消」の理念を掲げている先生、これからも世のママ達の心強い味方で! 宜しくお願い致します☆彡 青葉区中江 早坂由美

かかりつけの患者さんは、どこへ行ってもかかりつけです。ましてや、出戻りは大歓迎です。京都にいた時期も繋がっていたので、仙台に戻ってきた時点でも全く違和感はありませんでした。“素敵に年を重ねる”、最高の評価として受け取っておきます(笑)。

開業20周年おめでとうございます。ご無沙汰しております。昨年3月末 急な夫の転勤直前まで、お世話になった張崎眞子 馨子 早磨 彩子の母です。その節は、新学期を目前に、なかなか住む所が決まらず、パニック状態になっていた私の話をよく聞いてくださりありがとうございましたm(_)_m、つくづく感謝しています。山形市に引っ越してきて早一年! こちらの生活にもだいぶ慣れましたが、やはり何でも相談できるかかりつけ医を見つけるのは、難しいですね。【かわむら先生の所に行けば、大丈夫!】という大きな安心感のもと私は、四人の子供達をのんびり育てられたように思います。基本的な考え方も、たくさん教えて頂き、私自身が、成長したかな~。4月から、末娘も幼稚園! 子育ては、まだまだ続きますが、ちょっと手があくかしら!? クリニックニュース いつも楽しみに拝見しています。これからも どうぞよろしくお願い致します。それでは、時節柄 どうぞご自愛くださいませ。 山形市 張崎秀子

引っ越してからのお祝い、特に嬉しいものです。当院の情報にアンテナを張っていたからこそ、20周年がわかったのでしょう。このNEWSも含め、いつまでも愛読者として応援よろしく。

開業20周年おめでとうございます!! 廻谷優心、心彩の母です。先日は子供達二人ともお世話になりました。風邪はすぐ治り元気です。知人にかわむらクリニックを紹介されてから3年、すっかりかかりつけとなりました。クリニックの一番の思い出と言いますか先生に言われた感動の一言があります。それは二人目の健診時(関節を診る時に赤ちゃんを横に寝かせて母親の指を吸わせる)あのすごい力に「うわーこれすごい!」と私が声をあげると先生がおっしゃいました。『これが生きる!! て事なんだよ!』... その時ちょうど震災後で私は大切な友人と友人の赤ちゃん(生後1ヶ月)が亡くなり、死と言う事について毎日考える日々でした。でも先生の一語でこうやって一生懸命生きている我が子がいるじゃないかと心が晴れたような気がしました。今更ですがありがとうございます。先生が強く言ったあの一言は多分一生忘れる事はないと思います。スタッフの皆さんもいつも子供の面倒見て頂き感謝しております。これからも宜しくお願い致します。遅くなり失礼しました。 青葉区台原 廻谷 かおり

たった一言が一生忘れられないなんて、ありがたいことです。震災から2年が経ちます。生きてくることの素晴らしさ、普通であることの素晴らしさ。決して忘れないようにしたいものです。

20周年おめでとうございます。こちらに越してきて、もうすぐ3年になりますが、その頃から毎月(毎週?)お世話になっております。他の病院では診察途中から泣き出すこともある息子たちですが、とくに次男は先生の前ではなんだかとても楽しそう(?)です。そして私は、先生の「心配しなくても大丈夫だから、お母さん」という言葉で、心が軽くなります。親子ともに信頼できる先生方に出会えて、とてもラッキーだと思っています! これからもよろしくお願い致します^^

宮城野区東仙台 本宮 聡子

小児科を受診してもらってくるものは?。子どもたちの健康とお母さんの笑顔です。もちろん子どもの笑顔は大事ですが、子どもの笑顔の裏にはお母さんの安心があるのです。



「20周年、すご~い」矢古宇です。芸能人からのメールもなくなり、やっと平和な日々に戻りました。久々のクリニックニュース。20周年凄いです。おめでとうございます。最近、子供の病気の相談とか全くせず、私の愚痴、世間話ばかりです。すっきりした気持ちで帰れます。長男がインフルエンザの時も、不安はなく笑顔で薬局で世間話かわむら先生の、分かりやすい説明と病気の予測があるから、私もドンと構えていられるんでしょう。春から長男は小学校、次男は幼稚園色んな意味でかわむら先生に鍛えられた私。何があっても、大丈夫。 宮城野区安養寺 矢古宇 里美



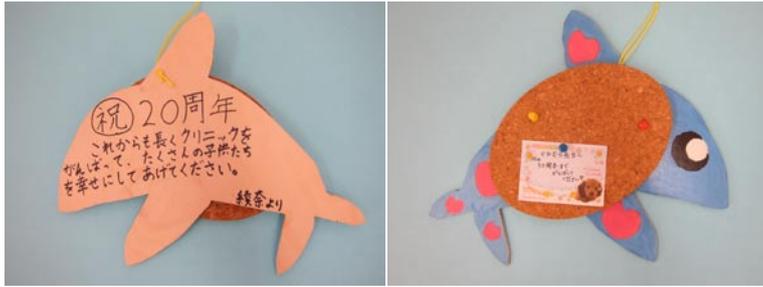
病院で貰ってくるもののお話第2弾。心の安定?。愚痴も結構、悩み事相談なんでもOKです。でも、念のため鼻水が出る、咳がひどいなどの症状を主訴に受診してください。冷やかしは厳禁です(笑)

山本凌雅、ゆいな之母です。いつもお世話になっております。20周年になるんですね。沢山の思い出というよりは、先生をはじめスタッフの方々に感謝の気持ちをいつか伝えたいと思っていました。クリニックに行くと、凌雅から目を離せないで慌ただしく診察して、帰るだけで、凌雅のような発達障害児でも普通に接して頂き、風邪を引いても安心して受診出来るようになりました。小さい頃は点滴もなかなか来ず、大騒ぎしていたのが昨日のように思い出します。先生にお会いできた私達家族は、幸運だいつも思っていました。これからもお世話になると思いますので、どうぞよろしくお願い致します。 宮城野区東仙台 山本 香洋

大丈夫です。日頃の言動で、ちゃんと伝わってきています。凌雅くんも、クリニックと院長は、お気に入りようです。安心して通える場所を提供できたこと、我々も嬉しく思っています。

たくさんの寄稿、本当にありがとうございました。

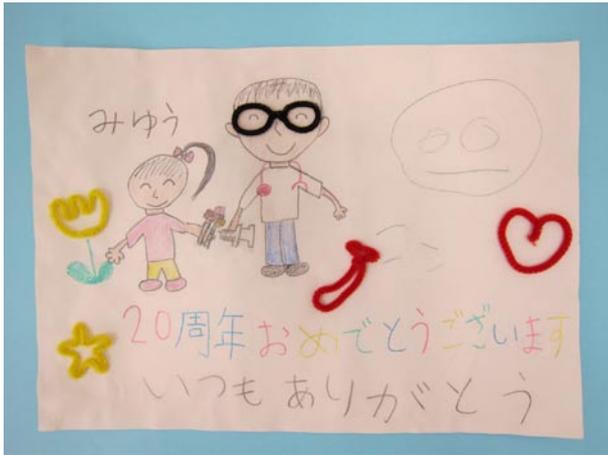
患者さんの展覧会



青葉区宮町 梅澤 綾奈 (11歳)

みんな おこいね!!。
しょうおだね! あいがとう。

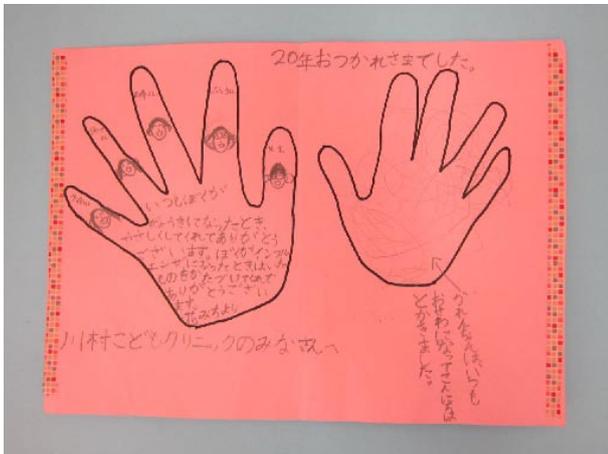
青葉区宮町 梅澤 英佑 (9歳)



青葉区高松 千葉 心結 (8歳) 心愛 (3歳)



泉区南光台南 橋野 優樹 (8歳)



泉区南光台東 浅野 花みち (7歳) 花怜 (3歳)



太白区袋原 橋裏 有里愛 (5歳)



10 数年前に通って
いた頃の思い出話を絵
本にしてくれました

東京都 泰楽 弘隆の母



患者さんの展覧会



こあらの家 子どもたち



泉区南光台東 高橋 斗希 (7歳) 友芽 (5歳)



青葉区宮町 梅澤 英佑 (9歳)

患者さんの写真館



青葉区旭ヶ丘 田村 健太 (9歳)



宮城野区幸町 上村 紘 (2歳) 虹 (1歳)

20周年お祝い寄稿

20周年おめでとうございます

仙台赤十字病院 川村 雄剛

もう20年も経ちますね。父さんは41歳だったわけだ(笑)
 開院20周年おめでとうございます。この20年、地域の頼れる小児科として、そして次々新しいことを導入していく先進的立場として素晴らしいご活躍と存じます。現在進行系で進化し続ける、院長先生、ならびにクリニックスタッフ様の更なるご発展をお祈りいたします。心よりお祝い申し上げます。



スタッフから

開院 20 周年おめでとうございます。私もかわむらこどもクリニックに勤めて、19 年目になります。沢山の子供達やお母さん、お父さん達と出会いいろいろな事を学び、教えていただきました。子供達の成長は早いもので、数ヶ月会わないだけで、言葉や行動共に成長している姿には日々驚きと喜びの連続です。19 年も勤めると、子供頃通っていた患者さんが、お母さんとなり子供を連れてクリニックに来るといっても増えてきました。驚きと言えば、川村先生の新しい事へのチャレンジ精神です。いつも見習いたいと思いつつも、なかなか見習えず反省する日々です。忙しい診療のなかでも『不安と心配の解消』を理念とし、子供や母親達と接する先生の会話を聞いていても、納得する事ばかりです。素晴らしい川村先生の下で、仕事ができてとても光榮に思っています。さて、私の 19 年間はどうかだったでしょうか？ まだまだ反省する日々の多い私ですが、川村先生や助け合えるスタッフのお陰で、なんとか過ごしているのが正直なところ。分の持っている明るさや元気が、不安や心配で来院された方が、帰る時には安心して帰れるサポートができたかと思っています。私も子供を持つ母親、そして家庭を持つ主婦、仕事している社会人として、共通する事が沢山あります。私はもしかして全てに於て、手を抜いているのではと思うこともしばしばありますが、完璧な人はいないと自分にいい聞かせながら過ごしているので、そんなふわふわした思いが気付かれているかも知れませんね。もし気付いたことがあったら、気軽に声を掛けてください。自分を振り返り、自分自身を成長させたいと思います。一言で 20 年と言っても、人で言えば子供から大人になるスタート、節目の時です。この素晴らしい時を一緒にお祝い出来て、有り難く感謝の気持ちでいっぱいです。これからも笑顔で気配りの出来るよう努めたいと思いますので、よろしくお祈りします。



看護師長 中米 由美子

開院 20 周年、本当におめでとうございます!! 先生が歩んだ 20 年という長い道のりの、半分だけ共に歩ませていただきましたが、私の人生の中でこのクリニックの存在はとても大きなものとなりました。クリニックに勤めてから妊娠・出産・育児を経験しました。診察中の先生の数々の言葉が沢山のお母さん方に影響を与えているように、私自身スタッフでありながらも一人の母親として、多くのことを学び子育てをしてきました。クリニックに出会えたこと幸せに思います。お母さん、子ども達のために自分の時間を削り「母親の不安と心配の解消」を理念として働く先生の背中を見て、この学んだことを生かし微力ながら後押ししたい! という気持ちで努めてきました。20 周年という節目に出会い、また気持ちを新たに、心配する生き物『母親』に寄り添っていきたいと思います!!

看護スタッフ 佐藤 陽子

20 周年おめでとうございます! 言葉にすると簡単ですが、20 年という長い年月を考えると本当にすごいことなんだと改めて感じています。ここ最近の先生の活躍は病院の中だけに留まらず宮城県内もしくは全国的な活躍にまでひろがり、そんな先生のもとで働いている私は果報者だと誇らしく思っています。休む暇も無いほど仕事をされている先生の姿を見ているとといった先生の元気や意欲はどこからかくるのだろうと考えてしまいます・・・きっと「子供たちのため・お母さん方のため」なんだろうと思います。そんな先生を尊敬しながら私も微力ではありますが、かわむらこどもクリニックのスタッフとして支えていきたいと思っています。

事務スタッフ 福地 あさか

かわむらこどもクリニック & 先生、20 周年おめでとうございます☆ご存知の方もいると思いますが、先生は、毎日の診療の他に、夜遅い会議や、休日も、全国に飛んで、公演などもしています。それでも、次の日には、元気に診療するので、いつもパワフルだなあ! と、頭が下がります。また、ネットでの情報発信も、とても役立つものだと思います。Twitter、blog、Facebook と、まめに更新されています。医療に関する事以外にも、日常の笑える内容もあり、楽しめます。そして、先生は、スタッフの写真をよく撮っています。普段、働いていると写真を撮る機会はないので、改めて見ると、私達スタッフにとっても、記念史のような思い出を振り返る大切なものになっています。かわむらこどもクリニックには、アットホームな雰囲気があるなあと思います。私も、クリニックにお世話になって 10 年が経とうとしていますが、日々、勉強の毎日です。先生から学ぶ事、患者さんから学ぶ事など、たくさんありますが、それを吸収して私も、先生 & かわむらこどもクリニックの力になれたら☆と思います。先生には、これからも体に気をつけて、頑張っしてほしいです。

事務スタッフ 道端 千尋

院長からスタッフへ

みんなから「20 周年おめでとう」を頂いたので、院長からは「20 周年ありがとう」を返します。患者さんからのお祝いのメールにも、院長は厳しいところがあって（多くのお母さんが指摘：笑）、お母さんを凹ませることがあります。「全てはこども達のため」だとしても、お母さんは必ずしも理解できない時もあるでしょう。そんな時の皆のフォローが多くのお母さん達を救っているのでしょうか。外向きにはいつも言っています。「院長の力はせいぜい 40%、スタッフの力が 60%。つまりクリニックを支えているのはスタッフ」と。震災の時にはクリニックや避難所に泊り、誰ひとり不平不満をいわず、こども達とお母さん達のために働いてくれています。皆の支えがあって、むしろ皆に支えられて、20 年を迎えることができました。大きな区切りとして、この場を借りて改めて感謝したいと思います。

読者の広場

先月は20周年記念紙の募集もあり、32通のメールを頂きました。一般のメールは4通のみでしたが、プライバシーに関わるものが多かったので1通だけ紹介します。

青葉区の○田さんからのメールです。「土曜日に受診しました○田○人の母です。大変お世話になりました。ドアに指を挟み、あわててかわむら先生に連れて行きました。紹介していただいた整形外科でレントゲンを撮って診ていただきました。幸い骨折はしていませんでしたが、もっと気をつけなければと反省しています。ドアにも対策をしたいと思います。」

先生、スタッフの皆さんにてきばきと診察をしていただいた事、本当に感謝しています。また、土曜日の午後15時に診ていただけるクリニックが近くにある事がどれだけ心強いが、改めて認識しました。本当にありがとうございました。」

骨折ではなくて何よりでした。怪我は小児科が専門では有りません。専門でも無いのに下手に手を出すことは避けなければなりません。でもクリニックを頼りにしているのに放っておく訳には生きません。小児科は、子どもの病気全ての窓口です。困ったことがあり当院で対応できれば対応し、専門家の紹介が必要であれば紹介する。それが小児科の役割と言うものです。関連したコメントをひとつだけ。内科小児科と小児科どちらがいい？、耳鼻科と小児科どちらがいい？。内科・外科・その他の科の羅列はよくないこと？。簡単にいえばどれが専門家なのか。内科小児科は小児科、小児科は小児科、羅列科は不明ということです。内科小児科はあるけど、一人の医師で眼科・皮膚科は無いでしょう。ひとりの医師の能力には限界があるのです。医師だから何でもできるという訳ではないのです。だから乳幼児の健診ができるのは小児科だけです。それが専門家の証です。



尊敬する人

藤澤 快星 (12歳)

ぼくの尊敬する人は、小さなころから、お世話になっている小児科の川村先生です。

川村先生には生まれた時から治療をしてもらっています。いつも、かぜをひくと川村先生にお世話になっています。いつも、川村先生に行くときすぐによくするため、家族がみな信頼しています。また、先生は新聞など継続した活動を行われています。ぼくが生まれたころより新聞があったので、少なくとも十二年はつづいています。こんなにも、長い時継続できるのはとてもすごいことだと思います。

このように尊敬する点がとてもたくさんありますが、ぼくが一番尊敬する点は他にあります。それは、診察の際、親では無く自分に聞いてくれる点です。どのような症状なのかを自分から聞いてくれ、自分に説明してくれます。このように子供のぼくに話をきちんとしてくれるところが一番の理由です。

ぼくの夢は医師になることです。何の医師になるかは、まだ決めていません。でも、先生が診察してくれた中で学んだことを生かしたいです。

快星くんは、当院へ通ったことを切っ掛けに医師になろうと思い、模試で書いた作文です。本人の頑張りもあって、難関二華中に合格しました。『子どもたちに夢を与えること』の大切さに気付かせてくれた出来事でした。20周年にふさわしい話題として、紹介させていただきます。



Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、420人を越えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信としてTwitter、Blog「子どもクリニック四方山話」、Facebookページ、YouTubeにも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください！

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。



MailNews



Twitter

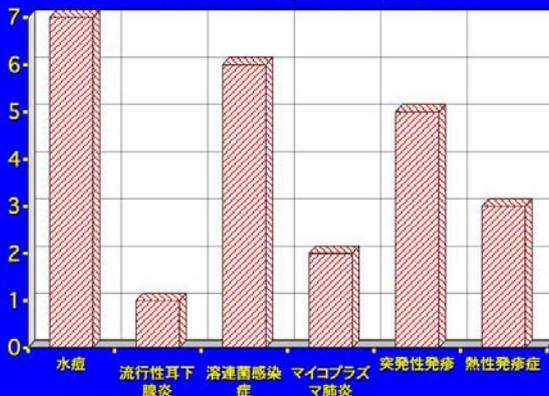


Facebook



Blog

2月の感染症の集計



溶連菌感染症が増加している以外には、特に流行している病気はありません。インフルエンザは初旬には多くみられましたが、中旬以降減少しました。2月中旬ぐらいからインフルエンザと似たような症状のヒト・メタニューモウイルス (hMPV) 感染症が増え、インフルエンザより多くみられました (ブログ参照)。マイコプラズマ肺炎も居ましたが数は多く有りません。グラフにはありませんが、感染性胃腸炎が多くみられました。

編集後記

お陰様で無事20年を迎えることができました。「継続は力なり」と書きました。やっと人間でいえば成人です。よちよち歩きの赤ちゃんが大人になれたのは、全て、家族、スタッフ、患者さん、そしてサポートしてくれる沢山の方々のお陰です。感謝という言葉しか浮かびません。本当に感謝、感謝、感謝です。もう少しは頑張ってみようかなと思っています。



麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
お父さんもお母さんも、家族と社会を守るために風しんワクチンを！！